

公開講演会を開催しました

開催日：平成30年11月20日（火） 高知会館（高知県高知市）

テーマ：「皆伐」をめぐる四国の山の現状と課題

参加人数：120名

四国支所では、研究成果等の広報・普及を目的として毎年公開講演会を開催しており、今年は「皆伐」をテーマに実施しました。

基調講演として宮崎大学の藤掛教授から主伐再造林が進む九州での状況と課題についてご講演をいただき、四国支所・酒井敦チーム長が支所における皆伐に関わるこれまでの研究と課題について発表を行いました。続いて高知、徳島、愛媛の各県及び四国森林管理局から、各県および四国森林管理局管内の国有林における皆伐に関わる状況と課題等が報告されました。

当日は県外からの参加者も多く、用意した席が足りないほど盛況な会になりました。パネルディスカッションでも会場との活発な質疑応答、議論が行われ、アンケートへの意見には「再造林やシカ対策など、皆伐に関わるような課題、問題に対する取組みの現状や考え方を聞くことができ、大変参考になった。」など、皆伐と再造林に対する関心の高さが改めて浮き彫りになりました。

当日の発表要旨集は四国支所ホームページからダウンロードできます。

http://www.ffpri-skk.affrc.go.jp/event/event_index.html

